

絵 日 記 部 門

総 評

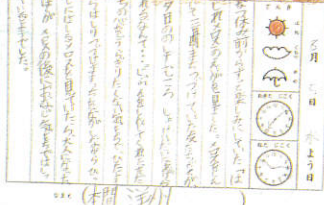
今年は、いろいろと形のうえで工夫をこらした作品もみられましたが、やはり、絵日記は大きさや量ではなく、しっかりとした絵と文からなっていることが大切です。

自分の生活を確かめて、見た色や思ったことを

残すという意味からも、もっとふだんの日常生活に目を向けてほしいと思います。

絵と文のバランスのとれた、いきいきとした作品を期待しています。

文部大臣奨励賞



ユニークな視点をもった文章と、力強い絵が目をはく作品です。特に、クレヨンを何度もぬり重ねて表現した色づかいや、ダイナミックな人物の描き方がみごとです。

「絵日記」

新潟大学教育学部附属新潟小学校

2年 本間 洋州



習 字 部 門

文部大臣奨励賞



とても温か味のある作風に好感が持てます。作者のおおらかな気分と、そして正確な筆使いから丁寧・真面目な様子が目に浮かんでくる気持ちの良い作品です。

「星ふる夜」

広島県呉市立二河小学校

6年 下花 尚子

総 評

第十回記念の作品コンクールにふさわしく1,000点余りの出点増をみました。北は青森から南は鹿児島にいたる分布の中で、それぞれの地域性や個性の豊かさが目立つ作品が多く、レベルの高さを示していました。

また、学校での書写教育の基礎・基本をふまえた数多くの作品は、その着実な指導がいかに行き届いているかということを物語っており、心強く、喜ばしく感じられました。

今後ますますの皆さんの力作を期待します。